

第2回 日本抗体学会学術大会 プログラム

会期：2023年12月1-3日（金、土、日）

会場：ライカ南国ホール（JR鹿児島中央駅より直結）

12/1（金）

12:30-12:40 開会の辞（日本抗体学会会長 伊東祐二）

座長：梅津光央（東北大学）

- 12:40-13:00 O-1 (P-5) 笠原慶亮
Fab抗体とNanobodyのスーパーチャージによる物性・機能改質
東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻
- 13:00-13:20 O-2 (P-6) 芦田 仁己
GPCR特異的抗体を迅速・高効率に取得する革新的技術
株式会社エヌビー健康研究所
- 13:20-13:40 O-3 (P-49) Aaron K. Sato
Functional DKK1 antibodies demonstrate antagonistic and tumor suppression activities
Twist Bioscience
- 13:40-14:00 O-4 (P-60) 萩原真二
抗TfR1抗体PPMX-T003の分子キャラクタリゼーション及び血液がんおよびがん薬効評価
ペルセウスプロテオミクス
- 14:00-14:20 O-5 (P-64) 江崎寛季
難治性がん腫の克服を目指したがん微小環境を標的とする抗体薬物複合体の研究開発
名古屋大学
- 14:20-14:40 O-6 (P-31) 飛知和 弦輝
染色体工学技術の抗体研究への応用（4）完全ヒト抗体産生動物×ファージディスプレイ法による腸組織移行性抗体の獲得および次世代抗体医薬品への応用
鳥取大学大学院 医学系研究科 医科学専攻

14:40-15:10 コーヒーブレイク（ポスタービューイング）30分

座長：根本直人（埼玉大学）

- 15:10-15:35 C-1 児玉龍彦
デュオカルマイシンを用いた抗体ミメティクス結合薬
東京大学
- 15:35-16:00 C-2 片山和彦
ウイルス感染症治療薬としてのVHH
北里大学
- 16:00-16:25 C-3 土井尚人
ウイルス変異に強いヒト末梢血由来抗体の特徴について
株式会社イーベック
- 16:25-16:50 C-4 土屋政幸

16:50-17:40 ポスター発表 (奇数)
17:40-18:30 ポスター発表 (偶数)

12/2 (土)

座長：村上明一 (徳島大学)

11. 9:30-9:50 O-7 (P-52) 前田佳夕
VHH 抗体提示 T7 フェージライブラリーの作製と鏡像 VHH 抗体の探索
京都大学大学院 医学研究科 人間健康科学系専攻
12. 9:50-10:10 O-8 (P-86) 田畑耕史郎
IgA 抗体の自己重合反応による四量体形成とその応用
北海道大学 ワクチン研究開発拠点
13. 10:10-10:30 O-9 (P-108) 小澤龍彦
In silico で改変した UT28K は SARS-CoV-2 オミクロン BA.1 に対して中和活性を回復した
富山大学 学術研究部医学系 免疫学
14. 10:30-10:50 O-10 (P-118) 森岡弘志
環状一本鎖抗体を構成ユニットとする二重特異性 T 細胞誘導抗体の創製と評価
熊本大学 院生命科学 (薬)

10:50-11:20 コーヒーブレイク (ポスタービューイング) 30 分

座長：内山 進 (大阪大学)

15. 11:20-12:05 C-5 倉持太一
中外の抗体技術とモノづくり力を生かした抗体創薬
中外製薬株式会社
16. 12:05-12:30 C-6 黒川智文
VHH の創薬研究・開発 - ナノゾラを一例として -
大正製薬株式会社 医薬研究本部 構造生物学研究室
17. 12:30-12:55 C-7 金田靖行
DXd ADC の技術開発と臨床応用の現状
第一三共株式会社 研究開発本部 研究統括部

12:55-13:55 昼食 (ランチョンセミナー 60 分)

株式会社エービー・サイエックス (メイン会場)

安定細胞株開発と抗体のハイスループット特性解析ソリューションのご紹介

金廣 優一 (モレキュラーデバイスジャパン株式会社)

横山 亮 (株式会社エービー・サイエックス)

東ソー 株式会社 (サテライト会場)

抗体医薬品の品質管理および機能設計のための Fc 受容体リガンド解析

長門石曉, 津本浩平 (東京大学大学院工学系研究科)

座長: 石井明子 (国立医薬品食品衛生研究所)

18. 13:55-14:20 C-8 中西 猛

二重特異性抗体デザインにおける Ig ドメインの連結
大阪公立大学大学院工学研究科物質化学生命系専攻

19. 14:20-14:45 C-9 立花太郎

高性能モノクローナル抗体作製法の開発と応用
大阪公立大学

20. 14:45-15:10 C-10 真壁幸樹

蛋白質連結と特異的ペアリングによる多様な二重特異性抗体の構築技術
山形大学大学院理工学研究科

15:10-15:40 コーヒーブレイク (ポスタービューイング) 30分

座長: 伊東祐二 (鹿児島大学)

21. 15:40-16:05 C-11 前田真吾

抗体分子の結合速度定数の向上のための基盤技術開発とその応用
シスメックス株式会社

22. 16:05-16:30 C-12 渡邊秀樹

抗体の変性構造を認識する小型人工タンパク質: 高次構造品質分析への展開と分析原理
産業技術総合研究所

23. 16:30-16:55 C-13 小泉智信

アカデミアの成果を社会実装する産学官の立場を経験して
理化学研究所

24. 16:55-17:30 C-14 Junho Chung

Development of antibody for chimeric antigen receptor (CAR) T cell therapy: points to consider
Seoul National University College of Medicine

17:30-18:20 ポスター発表 (奇数)

18:20-19:10 ポスター発表 (偶数)

12/3 (日)

座長: 萩原義久 (産業技術総合研究所)

25. 9:30-9:55 C-15 原谷健太 (中外製薬)

革新的抗体医薬品創出における薬物動態の重要性
中外製薬株式会社 研究本部 バイオ医薬研究部

26. 9:55-10:20 C-16 木吉真人

FcRn カラムを用いた抗体医薬品の特性解析
国立医薬品食品衛生研究所

27. 10:20-10:45 C-17 清水芳実

組換えピフィズス菌を利用した抗がん剤開発
帝京平成大学 薬学部 生体防御教育研究部門

10:45-11:15 コーヒーブレイク (ポスタービューイング) 30分

座長：津本浩平 (東京大学)

28. 11:15-11:40 C-18 菊池信介

バイオ医薬品におけるプロセス開発の最前線
協和キリン株式会社

29. 11:40-12:05 C-19 内山進

抗体医薬品の安定性における残された課題
大阪大学大学院工学研究科生物工学専攻

30. 12:05-12:30 C-20 吉川 弘樹

医薬品開発における包装容器の重要性
テルモ株式会社

12:30-13:30 昼食 (ランチョンセミナー 60分)

日本ウォーターズ株式会社 (メイン会場)

糖鎖均一化テクノロジーによる抗体機能強化に向けたアプローチ

眞鍋史乃 (星薬科大学薬学部)

株式会社 Epsilon Molecular Engineering (サテライト会場)

cDNA display の進歩による抗体工学への新展開

根本直人, 熊地重文, 讃良茂浩

座長：村上明一 (徳島大学)

31. 13:30-13:55 C-21 大澤賢太郎

3次元ホモダイクイン検出法を用いたサブミクロン凝集体のハイスループット分析
(株)日立ハイテク

32. 13:55-14:20 C-22 加藤且也

表面修飾多孔質ジルコニアビーズへの抗体分子の選択的吸着と効率的精製への応用
日本特殊陶業一産総研ヘルスケア・マテリアル連携研究ラボ

33. 14:20-14:45 C-23 大野侑香

抗体を用いた診断試薬の開発と高感度化への取り組み
東ソー株式会社

34. 14:45-15:10 C-24 松永康祐

インシリコモデリングへ向けた VHH 抗体の分子シミュレーション
埼玉大学

35. 15:10-15:35 C-25 Eliud Oloo

The Role and Impact of Computational Modeling in the Design and Development of Antibody-based
Therapeutics
Schrödinger Inc.

36. 15:35-16:00 C-26 浜松 典郎

機械学習を駆使した進化分子工学：aiProtein による高性能タンパク質デザイン
株式会社レボルカ

16:00 閉会の辞（日本抗体学会副会長 根本直人）*ポスター賞表彰を含む